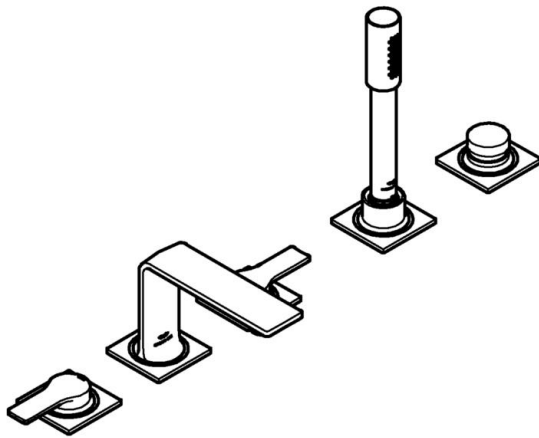


アリュール デッキバス・シャワー混合栓 取扱説明書 (お客様用)

- このたびは、GROHE製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は(付属の保証書)お読みになりました後もすぐに取り出せる場所に大切に保管してください。
- この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
- 不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

工事店さまへのお願い







この取扱説明書と、保証書に貴店名ならびに
取付日をご記入の上、お客様にお渡しください。







安全上のご注意	1
ご使用前に	3
各部の名称	4
ご使用方法	5
お手入れ方法	6
日常のお手入れ	6
冬期凍結の恐れがある場合	6
定期的なお手入れ	7
修理を依頼される前に	7
定期的な部品交換	8
アフターサービスについて	8

安全上のご注意


- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明			
 警告	「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」		
 注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「してはいけません！」 (一般的な禁止記号です。)		「分解してはいけません！」
	「指示した場所に触れてはいけません！」		「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)



⚠ 警告：ヤケドやケガをしないために

 禁止	<p>小さいお子さまだけの使用は避けてください。 ※ヤケドやケガをする恐れがあります。</p>
	<p>お湯の使用中に、他所の水栓の同時使用のないように、注意してください。 ※圧力変動がおこり、湯温が急上昇して、ヤケドをする恐れがあります。</p>
	<p>シャワーには45℃以上の湯を通さないでください。 ※高温のシャワーヘッドに触り、ヤケドをする恐れがあります。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。</p>
 分解禁止	<p>修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。</p>
 禁止	<p>器具の左側は給湯側のため高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>
	<p>高温の湯をお使いのときは、吐水口は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。</p>
 指示	<p>お湯をお使いになるときは、必ずハンドルを水側から開栓してください。 ※湯側から開栓すると高温の湯が出てヤケドするおそれがあります。</p>
	<p>お湯を止めるときは、必ず湯側ハンドルを先に閉めてください。 次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドするおそれがあります。</p>
	<p>お使いになる前に、必ず素手で適温であることを確かめてください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。 ※ご使用時は低温から少しずつ調節して、適温になるようにしてください。</p>
	<p>お使いになる前に、シャワー側か吐水口側かを確認してから切替ハンドルを回してください。 ※間違えるとヤケドをする恐れがあります。</p>
	<p>高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないよう、湯側のハンドルから止水し、しばらく水を流してください。 ※次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※次に使用者が誤って高温の吐水口に触り、ヤケドをする恐れがあります。</p>
	<p>定期的に配管の漏水やガタツキがないか確認してください。 ※部品破損によりヤケドやケガをしたり、漏水で家財など濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>

⚠ 注意：凍結防止のために

 禁止	<p>凍結が予想される際は、室内を保温して氷点下にならないようにしてください。 (寒冷地用の場合は配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。) ※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>
--	---

⚠ 注意: 正しくお使いいただくために

 禁止	<p>製品に衝撃を与えたり、もたれかかったりしないでください。 ※破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。</p>
	<p>吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけたりしないでください。 ※摩耗・変形などで部品の寿命が短くなり、漏水の原因となります。</p>
	<p>ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、お止めください。 ※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。</p>
	<p>めっき面のハガレはそのまま放置しないでください。 ※めっき面のハガレやキズでケガをする恐れがあります。</p>
	<p>シャワーヘッドを落としたり、ぶつけたりしないでください。 ※メッキ表面にキズがつき、ケガをする恐れがあります。シャワーヘッドにキズが生じた場合は、交換してください。 ※身体の上に落ちケガをする恐れがあります。 ※破損や漏水の原因となります。 ※タイルに割れ、欠け、キズが生じ、ケガをする恐れがあります。</p>
	<p>シャワーヘッドを浴槽、洗面器等に浸さないでください。 ※一度吐水された湯水等が一次側配管に逆流する可能性があります</p>
 指示	<p>首振り操作はできません。乱暴に扱うとゆるみを起こすことがありますので、首振り操作はしないでください。 ゆるみで家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>ホースを乱暴に扱って破損や事故を起こすことがありますので、余裕を持たせてお使いください。 ※破損・事故で家財などを破損し財産損害発生のおそれがあります。</p>

ご使用前に

- ピットスペース内の止水栓が開いているか確認してください。
閉まっている時はハンドルを左に回し、開けてください。
- ※図は縦型止水栓で記載されておりますが、横型止水栓についても同様です。



ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 給湯器の給湯温度は45℃以上の湯を通さないでください。
 - 流量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- ※市販の節水シャワーと組み合わせる場合は、あらかじめ給湯器の作動流量をご確認の上ご使用ください。

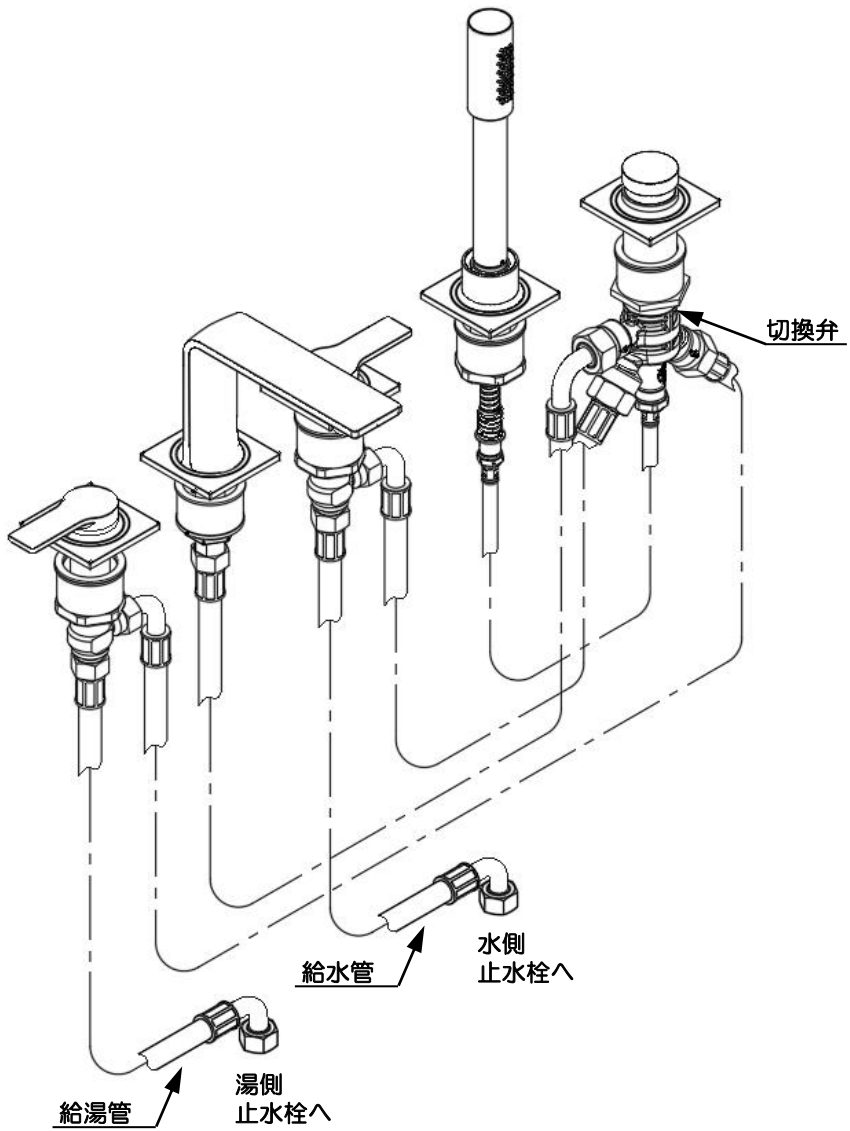
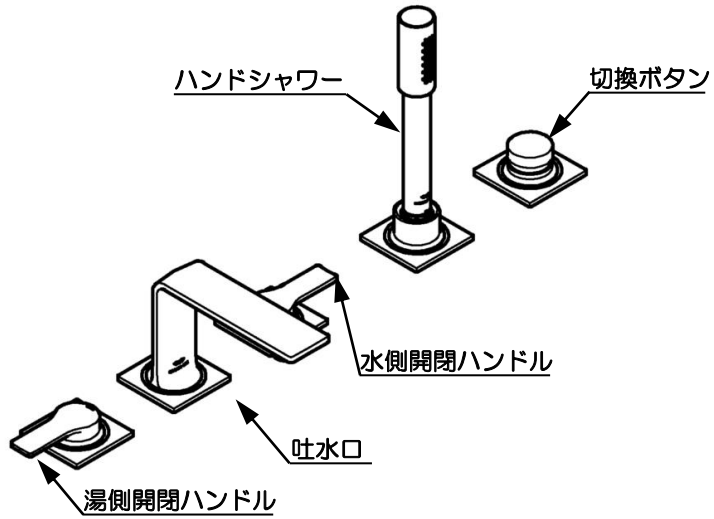
ハンドルの操作

- ハンドル操作は、回転を急激に行わないでください。
※急激な操作をすると水栓 または 配管部で音が出たり、吐水温度が急激に変わります。
- 混合栓を使用する際は、必ず水から吐水してください。
※熱湯が吐出してヤケドする恐れがあります。

水かけの禁止

- 引き出したホース、引き出し穴に直接水をかけないでください。
※水がデッキ内部に侵入しますので、十分に気を付けてください。
(防水等を考慮している場合は建築業者、据付業者等にご確認をお願いいたします)

各部の名称



ご使用方法

開閉ハンドル

【吐出量と温度の調整】

向かって右のハンドルが水側ハンドル、左のハンドルが湯側ハンドルです。
まず水側ハンドルを最初に開き、次に湯側ハンドルをゆっくり開いて
お好みの温度・吐出量に調節してください。

－水側ハンドル－

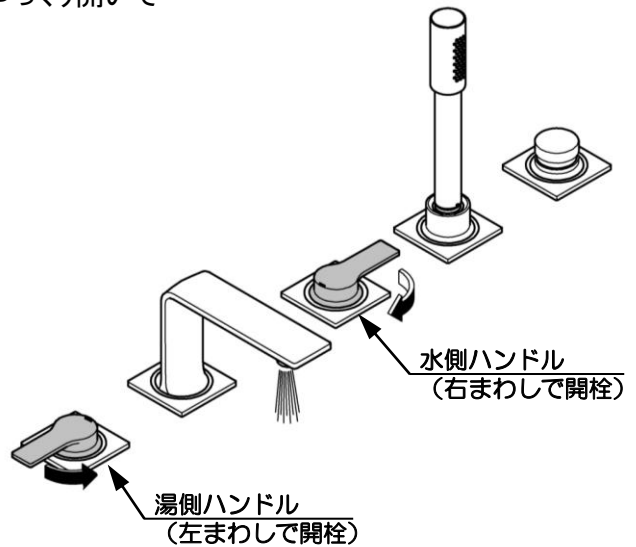
- 右まわしで → 吐出が始まります
- 左まわしで → 止水します

－湯側ハンドル－

- 左まわしで → 吐出が始まります
- 右まわしで → 止水します

注意

- ・開栓は必ず水側ハンドルから開栓してください。
 - ・閉栓は必ず湯側ハンドルから閉栓してください。
 - ・ハンドルはゆっくり操作してください。
 - ・切換ボタンを押して吐水口吐出になっていることを確認してから開栓してください。
- ※高温の湯が出て、やけどする恐れがあります。



切換ボタン

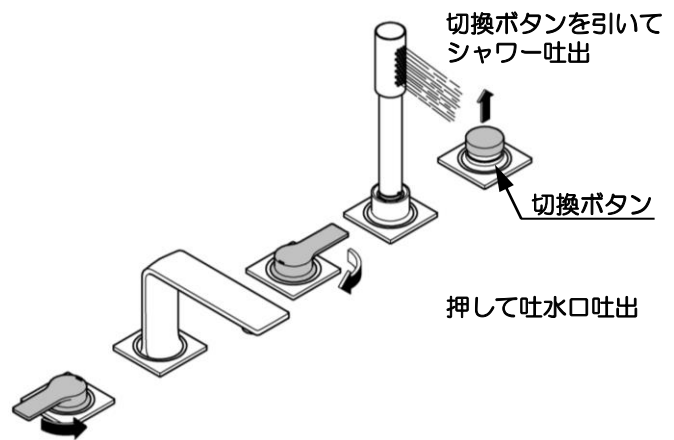
【吐水口とシャワーの切換え】

切換ボタンを引くことにより、
吐水とシャワーの切り換えを行うことができます

- ボタンを押して → 吐水口吐出
 - ボタンを引いて → シャワー吐出
- ※閉栓すると自動的に吐水にもどります。

注意

- ・シャワー使用後に止水すると吐水口吐水に戻ります。
 - ・切換ボタンはゆっくり操作してください。
- ※急激な操作をすると水栓 または 配管部で音が出たり、吐水温度が急激に変わります。

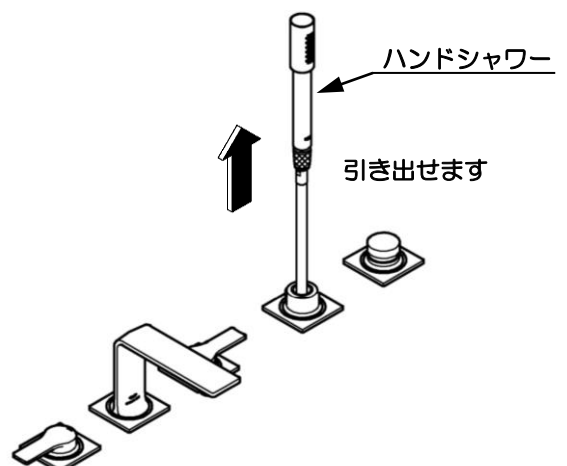


ハンドシャワー

ハンドシャワーはホルダーから引き出して使用出来ます。

注意

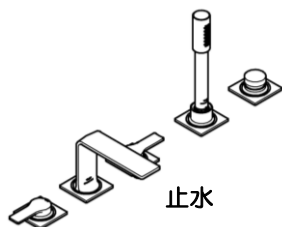
- ※ 無理に引っ張るとホースを損傷し、漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ※ シャワーをお使いになった後は、必ずホルダーにきちんと収納し、戻してください。



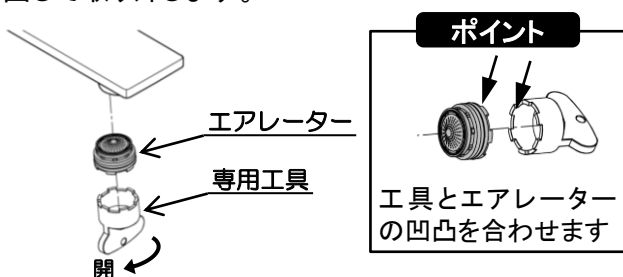
お手入れ方法

エアレーターの清掃

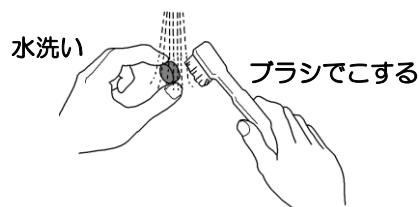
1. 開閉ハンドルを止水状態にします。



2. 工具を使用してエアレーターを反時計まわりに回して取り外します。



3. エアレーターに付いたゴミや汚れを取り除きます。



注意

- ・施工直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。
- ・清掃後は専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。
- ・エアレーターは樹脂製です。吐水口側のねじへ正確にゆっくりねじ込まないと、樹脂製のねじが破損する場合があります。

日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。そのあと水でぬらした柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。※水洗い時には、引き出したホース、引き出し穴に直接水をかけないようにしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される場合は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

また、凍結による破損は、保証期間内でも保証対象外となりますのでご注意ください。

※破損の程度によって修理できない場合は、本体の再度購入になることがあります。

注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓から少量の水を流し放しにする。
- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

水栓のガタツキ(1カ月に1回程度)

- ◎水栓のガタツキがないか確認してください。
配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす
財産損害発生のおそれがあります。

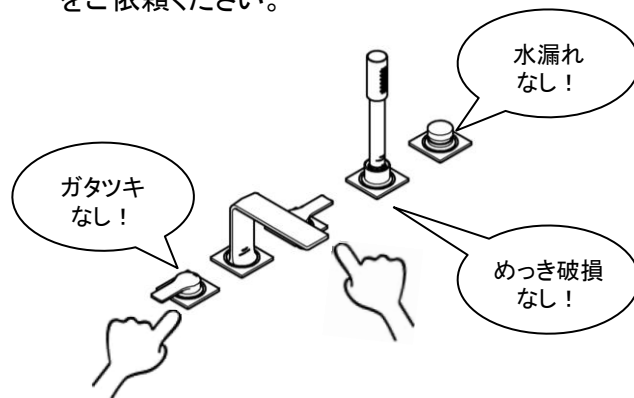
販売店、据付業者に確認してください。
またはグローエサービスセンター(P8)へ
ご相談ください。

めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れ
で、ケガをするおそれがあります。

水漏れ点検

- ◎水回りの水漏れがないか点検してください。
水漏れしている場合は、止水栓または元栓を
閉め、グローエサービスセンター(P8)へ修理
をご依頼ください。



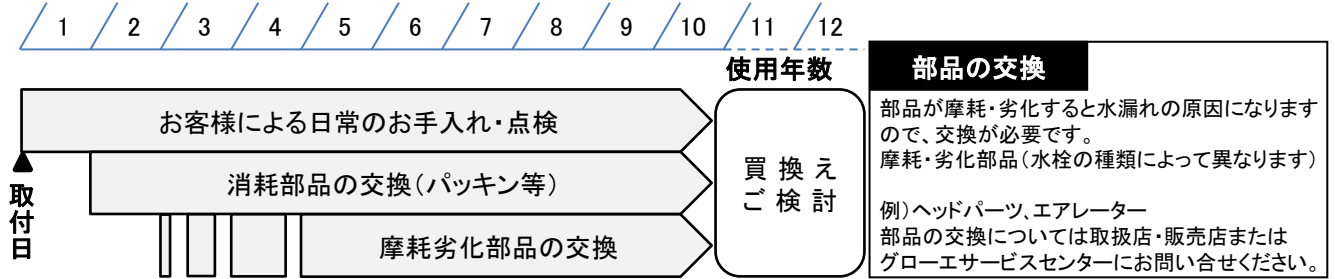
修理を依頼される前に

このようなとき	よくある例	ここをお調べください
吐水量が少ない (少なくなってきた)	①配管内のゴミがエアレーターにたまってきた。 ②給湯器の温度設定が不適切である。	(1)吐水口先端のエアレーターにゴミ詰りがいないか確認してください。 ※「エアレーターの清掃」をご参照ください。 (2)ガス給湯器と組合せてご使用の場合、能力切替付のものは、適正能力にセットされていることを確かめてください。
適温の温度調節がスムーズに出来ない	③配管内のゴミがストレーナーにたまってきた。 ④給湯器から十分なお湯がきていない。 ⑤水または、湯のいずれかの圧力(勢い)が強過ぎる。	(1)上記同様、エアレーターにゴミ詰りがいないか確認してください。 (2)給湯器から十分なお湯がきていることを確認してください。 (3)湯側・水側とも吐水量が同等であることを確認してください。 ※以下の方法で調整してください。 1.湯側ハンドルをいっぱいに出し、湯側の止水栓で適量に調整します。 2.水側ハンドルをいっぱいに出し、湯側いっぱいの位置の吐水量と同じか、または1.5倍位になるように、水側の止水栓を調整します。
水の量が多すぎる 使用時に高い音がする	⑥水の圧力(勢い)が強過ぎる。	上記と同様の方法で止水栓を締め込んで水または湯の量を適量に調整してください。
完全に止水できない	⑦内部ヘッドパーツにゴミが付着、または破損している。	販売店、据付業者に連絡してヘッドパーツを洗浄、または交換する。
吐水口根元に水がしみ込む	⑧吐水口水漏れ防止パッキンのずれ、または破損している	販売店、据付業者またはグローエサービスセンターに連絡して水漏れ防止パッキンのズレを修正またはコーキング等で防水処理をする
吐水口が動く、ぐらつく	⑨固定ピンを使用していない、固定ビスがゆるんでいる。	販売店、据付業者に連絡して固定ピン、固定ビスをきちんと施工してもらう。
シャワー、吐水の切換えが完全にできない	⑩内部切換弁にゴミが付着または破損している。	販売店、据付業者に連絡して切換弁を洗浄、または交換する。
ハンドシャワーから止水後水滴が若干滴下する	⑨ハンドシャワーの構造上発生することなので故障ではありません。	気になるようでしたらシャワーヘッドを振って、よく水を切ってからシャワーフックに納めてください。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、またはグローエサービスセンター (0570-666-368) へご相談ください。
※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

◆定期的な点検・部品交換のめやす



補修用部品の 供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。
なお、補修部品のご購入については取扱店・販売店またはグローエサービスセンターにお問い合わせください。

アフターサービスについて

◆修理を依頼される時

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- | | | |
|-----------------|---------------|-----------------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 | 3. 品番(保証書) |
| 4. ご購入日 | 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 希望訪問日・在宅可能日時 |

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)
平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のご相談のみ)

2ハンドルデッキバスシャワー混合栓 一般地用

品質確認 実施工場	株式会社LIXIL 半田工場
認証登録番号	C-299
特記事項	浴室専用「飲用使用範囲外設置品」

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>